

(様式1)

令和2年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)
県民公園太閤山ランド 都市計画課

2 施設所在地
射水市黒河

3 施設設置年度
昭和58 年度

4 設置目的
県民に休息、観賞、散歩、遊戯、運動等総合的なレクリエーションの場を提供する。

5 施設概要
敷地面積：95.9ha
主な施設
・プール広場：29,300㎡
・展望塔：鉄筋コンクリート 1,150㎡、高さ92m
・ふるさとパレス（多目的施設）：鉄筋コンクリート 6,248㎡
・ファミリースポーツプラザ（体育館）：鉄筋コンクリート 2,563㎡
・こどもみらい館：鉄筋コンクリート 2,610㎡
（こどもみらい館の管理状況評価は、所管課である子ども支援課で実施）

6 指定管理者
(公財) 富山県民福祉公園

7 指定期間
5 年
平成29年4月1日 ~ 令和4年3月31日

8 利用者数及び利用（使用）料金収入の状況

(1) 利用者数（人） ※この他、参考となる指標があれば追加

H28	H29	H30	R1	R2
832,720	770,860	789,040	788,444	454,840

(2) 利用（使用）料金収入（千円）

H28	H29	H30	R1	R2
101,754	89,155	91,859	91,541	39,142

【参考】 利用料金収入見込み額（利用料金制導入施設の場合）

H28	H29	H30	R1	R2
76,753	88,972	88,972	89,796	90,620

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

・利用者数は対R1年度比57.7% (333,604人減)、有料公園施設の料金収入は対R1年度比42.8% (52,399千円減)となった。
・新型コロナウイルス感染症対策として、プール広場の営業期間を短縮し、1,500人の人数制限を実施したことの影響が最も大きい。また、施設の一時休止や、ゴールデンウィークの大型イベントやあじさい祭り、花火大会等の中止のほか、1月の豪雪も減少の要因となった。

(2) サービス向上に向けた取組み

・令和2年度から、プール広場に屋外シャワー設備を設けたことで熱中症対策やロッカー等の混雑回避ができることとして大変好評を得た。また、更衣室や洗面所の飛沫防止の仕切り板設置や換気扇の増設など、新型コロナウイルス感染症対策を行った。
・自宅でもあじさい祭りやハロウィンイベントを楽しめるように、令和2年度新たに、あじさいの挿し木方法やカボチャランタン作りの動画をYouTubeで配信した。また、園内で採れた松ぼっくりなどを使用した「ミニクリスマスツリー」や「ミニ門松」の制作キットを販売した。
・園内の案内サインについて、新しい情報を追加するなど来園者がわかりやすいよう見直しを行った。
・冬季屋外ストーブ設置に際し、園内の野菜畑で栽培したサツマイモを焼き芋にして無料配布した。
・噴水パラダイスのリニューアルを行い、ファミリー層に好評を得た。

(3) 利用促進（収入増）に向けた取組み

・令和2年度新たに駐車場やトレーンのシーズンパスのオンライン販売を行った。
・ホームページでの施設案内及びイベント情報の提供を行うとともに、フェイスブックやLINE@によりリアルタイムの情報発信を行った。
・平成29年度に導入した有料公園施設の電子予約システムを、令和元年度にスマートフォン対応にリニューアルした。
・GoToトラベル事業地域共通クーポン券制度に登録し、利用促進を図った。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

① アンケート結果

実施方法	①WEBアンケート（6月8日～28日） ②イベント（ノルディックウォーキング）参加者アンケート（7月11日） ③シーズンパスアンケート（9月14日～10月4日） ④LINE@アンケート（3月20日～21日）
回答者数	①259人、②22人、③257人、④785人
結果	①散策や憩いの場としての利用：「満足」「やや満足」93.1% 子どもの遊び場としての安心感、安全性：「満足」「やや満足」93.0% ③利用の満足度：「満足」「やや満足」90% プールのコロナ対策については、入場者数の制限や清掃など安心して利用できたとの意見が多かった。 ④過去最多の回答者数となり、イベントの開催希望や飲食施設の充実等多様な意見を得た。
結果を踏まえた改善事項	・健康づくりをテーマとして、ウォーキングコースを活用したイベントを実施した。 ・オリジナルグッズの販売を計画した。（令和3年4月新トレーニンググッズ）

②その他利用者の声を反映させる取組み

- ・ボランティア、地元住民、競技団体、利用団体等から意見聴取
- ・意見箱の設置（4か所）

③主な苦情と対応

- ・ボート乗り場の接客対応が悪い。⇒委託業者へ再度の職員教育等を指示した。
- ・プール入場時にルートが制限されたが、ベビーカーを持って階段を使うのは大変。看板もわかりにくい。⇒令和3年度には対策を検討する。

(5)個人情報保護の取組み

- ・個人情報に関する指針を定め、職員に周知を図っており、適切な個人情報保護が図られている。

(6)関係団体との連携

- ・パークボランティアをはじめとしたボランティアグループが、指定管理者のイベントに参加し、密接に連携している。

(7)施設・設備の維持管理

- ・不具合や劣化等について保守・点検を実施し、必要に応じて修繕を行うなど、適切に維持管理を行っている。

(8)危機管理・安全管理などの取組み

- ・都市公園緊急事態対応マニュアルを作成し、緊急時の対応方法や連絡体制を定めるなど、適切に危機管理・安全管理に取り組んでいる。

10 所管課の管理運営確認状況

- ①定期報告の受理
- ②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③個人情報に関するトラブルの有無
- ④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有／無	回数(有の場合)
有	12
有	6
無	—
無	—

【トラブルの具体的内容と対応】

—

11 今後の課題等（収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載）

- ・「新型コロナウイルス」感染拡大防止に伴い、プールの営業が危ぶまれたものの、入場者数の制限及び消毒の徹底を行って、無事に営業を行うことができた。このことは、令和3年度以降のプール営業に大きく活かせるノウハウとなり、引き続き利用者が安心して楽しむことができるよう取り組んでもらいたい。
- ・本公園は、平成30年度に開設35周年を迎え、公園施設の急速な老朽化の進展が見込まれることから、平成25年にライフサイクルコストの縮減及び修繕・更新費用の平準化を進めることを目的として長寿命化計画を策定し、整備を進めてきている。引き続き、公園施設の機能保全と安全対策を図るため、日常の維持管理に努めてもらいたい。